

市長への手紙 ご意見とその回答(令和5年6月)

質問	<p><u>コミュニティバス・公共上水道普及について</u></p> <p>1. コミュニティバスについて</p> <p>高齢者、障害者にとっての移動手段としてのコミュニティバスは欠かせないものです。ところが、コミュニティバスの本数を減らすという案があるとのこと。そして代わりに乗合タクシーの乗車方法を検討するという案を耳にしました。でもその方法は、決して便利ではないと思いました。本当に便利なのは牛久市で行っている方法だと思います。</p> <p>牛久市の方法とは、いつでも自宅から牛久市内であれば目的の場所まで行ってくれるという方法です。しかも龍ヶ崎市でも済生会病院には行くそうです。龍ヶ崎市でも、自宅からいつでもどこにでも行ってくれる、そして年齢、障害に関係なく、誰でも利用できる乗合タクシーを検討、実現させてください。</p> <p>2. 公共上水道普及について</p> <p>龍ヶ崎市は上水道の普及がいちじるしく低い市と言われています。その中でも旧龍ヶ崎地区はさらに低くなっています。旧龍ヶ崎地区は水が悪く、洗濯物は色がついてしまい、トイレ、洗面所は黄ばみ、もちろん飲み水には適していません。スーパーで水を汲んできたり、ペットボトルの水を買ってきたりしています。</p> <p>下町東地区において水道管を入れる計画がありました。水道局で調査に来ましたが、年を取って今さら必要ないと答えた人が半数くらいいるので、入れることは難しいと言われたそうです。(7月中に検討し決定することです。)</p> <p>考えてみれば、今水道管を入れなければ入れることは永久にないと思います。住んでいる人が世代交代になっても、水道が入っていなければこの場所に住むことは少なく、他の場所に移ってしまうことが考えられます。しいては空き家となり、街が活性化しない旧龍ヶ崎地区となる恐れがあります。</p> <p>たとえ今住んでいる人が個人宅に引き込まなくとも、本管だけでも設置していただけるように、市として水道局に交渉してください。(もちろん個人宅に入れるという家もあります。)</p>
回答	<p>はじめに、コミュニティバスにつきましては、運行開始以降、広く市民の皆様に関心され、地域の移動手段として欠かせないものであると認識しております。一方で、一部路線では利用者数が少ないなどの課題もあり、持続可能な公共交通網を維持していくため、現在、新たな技術を活用した公共交通機関である、「AIオンデマンド交通」の</p>

実証実験を予定しております。

これは、スマートフォン等からの予約に従い、リアルタイムでAIが運行経路を決定し、運転手はその指示に従って運転するという、新しい形の交通機関で、当市の実証実験では、市の東部地域を実証運行エリアとし、概ね300箇所の乗降場所を設定して、利便性の向上に努めてまいります。

実証実験は本年10月から半年間実施し、終了後は、その結果を踏まえて、コミュニティバスの今後を含めた、当市にふさわしい公共交通の形を検討していく予定です。

ご提案いただきました、「いつでも、どこでも行ける、だれでも利用できる乗合タクシー」につきましては、民間の交通事業者の経営に与える影響が大きいと判断されることから、実現が難しいものと考えておりますが、「龍タク」のさらなる利便性の向上に努めてまいります。

ご要望に添える回答でなく、誠に申し訳ありませんが、引き続き地域の移動手段の維持・確保に努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

また、実証実験の際には、利用者へのアンケート調査等を実施する予定ですので、ぜひご乗車いただき、ご意見ご感想を頂戴したいと考えております。

次に、公共上水道の普及につきまして、当市から茨城県南水道企業団へ問い合わせましたところ、ご指摘の地域の上水道の整備は今年度から実施するよう進めているとのことでした。

また、茨城県南水道企業団では、令和4年度から給水加入金を最大35,000円軽減する支援制度を創設するほか、水道未加入世帯への周知のための訪問等を実施しながら水道の普及拡大を進めておりますので、当市としましても、引き続き茨城県南水道企業団と連携してまいりたいと考えております。

【担当：都市計画課・生活環境課】